



学校だより

11月号

令和5年10月31日
横浜市立能見台南小学校



← 学校ホームページ
QRコード

承認欲求について

校長 榊原 一紀

オリンピックが終わりました。春から秋へ、ブロックでの演技など多くの変更を行ったことで、ご心配をおかけしたことと思います。追加の行事参加カードは500枚以上の枚数をお渡ししたので、家庭用の2枚を含めると、計算上は約1300名の参観があったこととなります。その中で、譲り合いやお互いへの思いやりによって、大きなトラブルもなく開催できたこと、保護者の皆様のご理解やご協力があったことと思います。ありがとうございました。また、終了後の片づけにご協力いただいた保護者の皆様のおかげで、その後の職員の片づけがスムーズになりました。職員数が少なくなっている中、本当に助かりました。

先日、新聞で「いいね」欲しさにSNSで誹謗中傷をした事件の記事を読みました。「始めは趣味に関する投稿をしていたが、『いいね』が全然もらえず、面白くなかった。他人を攻撃する投稿をすると多くの人に拡散された。反響がうれしかった。」と書いてありました。その内容から欲求について気になり調べてみたところ、人間の欲求には次の段階があるそうです。

①生理的欲求②安全の欲求③社会的欲求④承認欲求⑤自己実現の欲求

この5段階は低い方から満たしていきたいと感じるものだと書いてありましたが、物質的に恵まれ、学校などのコミュニティに参加できる現代の日本では③の社会的欲求までは満たしやすく④の承認欲求を抱きやすいそうです。

承認欲求とは「他人から認められたい」「自分を価値のある存在として認めたい」という欲求で、子どもが「ねえねえ、見てみて」と見せてくる姿やより自分を好きになりたいという感情のことをいうそうです。私たち大人も話をするときには反応してくれるのを期待しているものです。そして、大きな反応は嬉しく感じます。

誹謗中傷した事件では、「いいね」がもらえずにエスカレートしたことが原因でした。だれでも大変な話は真剣に聞いてくれます。だから「〇〇で大変だ」というような話をしていく方が多いのではないかと思います。でも、事件の話や欲求について調べていくなかで、「話がエスカレートしないように気を付けよう。」「話を聞く立場の時には、どんな話もきちんと聞こう。」と思いました。現代社会では、家族の時間が取りにくくなっています。大変な話をたくさんしないと振り向いてもらえないと思ってしまう前に、家族の時間を取ることが大事だと思いました。

今月はなかよし遠足もあります。子どもたちは頑張ったことや楽しかったこと、大変だったことなどを話すと思います。ぜひ子どもたちの思いを受けとめて、承認欲求を満たしてあげてほしいです。